

# 優良種苗確保事業

(環境部森林保全課執行委任)

谷 秀司

円滑かつ適正な森林造成を推進するために、精英樹系統苗木等の特性を解明し、優良な種苗の供給を確保するために次の事業を実施した。

## 1. 採種園・採穂園改良事業

育種母樹林の改良のため、不良木等の伐倒・搬出、ヒノキ採穂園の改良及び採種園の補植、断幹等樹形誘導をおこなった。

## 2. カメムシ等防除対策事業

本年度採種するヒノキ母樹にカメムシ防除用の袋掛けをおこなった。

なお、採種後の発芽試験において、袋掛けしたものとそれ以外のものとの比較をおこなった結果は次のとおりとなった。

区 分	重量(100粒当たり)	発 芽 率	備 考
袋掛け有り	0.222g	66.2 %	
袋がけなし	0.222g	35.3 %	

## 3. 品種改良事業(次代検定林調査)

選抜された精英樹の遺伝的特性を検定するため、次の2カ所の次代検定林で調査を実施した。

西三ヒノキ3号

所在地：度会郡度会町川口

林 齢：30年

面 積：1.50ha

系統クローン数：実生，21；さし木，10。

西三スギ13号

所在地：久居市榊原町奥山

林 齢：20年

面 積：1.50ha

系統クローン数：実生，15；さし木，10。

## 4. 採種源整備運営事業

育種母樹林等整備事業

育種母樹林を対象に、下刈、消毒、施肥、整枝剪定等を行うとともに、苗木の養成、ジベレリン処理を行った。

種子採取事業

採取、精選した種子を次のとおり、三重県林業種苗協同組合連合会に売り払った。

樹種	売り払い数量	備考
スギ	15kg	発芽率 57.2 %
ヒノキ	100kg	発芽率 37.1 %
合計	115kg	

## 5. その他

マツノザイセンチュウ抵抗性クロマツの育成

マツノザイセンチュウに対し抵抗性があるクロマツの育成を目的として昭和62年に設定された採種園の改善を図るため、次の調査を実施した。

### ア、抵抗性苗木の育成実証試験

抵抗性クロマツ採種園から生産される種子から養成した苗木の抵抗性を見るため、マツノザイセンチュウ接種試験を実施した。

接種頭数：5000 頭

接種年月日：2001 年 7 月 24 日

調査年月日：2001 年 11 月 14 日～ 16 日

検定結果

家系	接種本数	健全率 (%)
田辺 54	30	86.7
三豊 103	30	63.3
波方 37	30	90.0
波方 73	30	86.7
吉田 2	30	63.3
三崎 90	30	93.3
夜須 37	-	-
土佐清水 63	-	-
津屋崎 50	30	66.7
志摩 64	30	90.0
小浜 24	30	93.3
小浜 30	30	66.7
大瀬戸 12	30	46.7
大分 8	30	66.7
川内 290	30	36.7
穎娃 425	30	60.0
対照 ( 精英樹 )	30	63.3

### スギの雄花着生量調査

三重大学が行っているスギの花粉飛散予想のための資料とするため、構内にあるスギ採種園（三重育46-14）の精英樹23クローン（69本）を対象に雄花の着生状況調査を行った。

着生量は調査木ごとに、それぞれ4方向の着生状況を指数{0:(ほとんど着花していないか、全くない)から3:(樹冠の2/3以上に着花している)までの4段階で評価}で表し、その平均を調査木の着生量とし、全調査木の平均をその年の着生量とした。

